

資料2 R1 「輝く明けの明星、O Morning star ! How fair and bright」 歌詞

(讃美歌346番「たえにうるわしや」、原曲名: Wie schön leuchtet der Morgenstern)

R1 作成 2024-06-22 岡本雅幸

讃美歌 346 番 歌詞

1. たえにうるわしや ヤコブよりいでし
あしたの星よ
たえにしたわしや ダビデのすえなる
すくいのみよ
主よ、主よ、うえなくとうとき御名をば
なににかはたとえん
2. さかえにかがやく きみのみすがたは
日よりまばゆく
めぐみにあふるる きのみことば
こよなくあまし
主よ、主よ、わすれもえがたき
いかにほめまつらん
3. きみこそわが知恵 またわがあがない
わがすべてなれ
み手にひかれつつ みくにへゆく身ぞ
げにもさちなる
主よ、主よ、はかりも知られぬめぐみに
たれかよくむくいん

英語歌詞

Source: The New Century Hymnal #158

1.
O Morning Star, how clear and bright,
your beam shines forth in truth and light!
My Sovereign meek and lowly!
O Root of Jesse, Promised One,
my God and Ruler, you have won
my heart to serve you solely!
You are holy,
great and glorious, all-victorious,
Rich in blessing,
rule and might o'er all possessing.
2.
Come heavenly Brightness, Light divine,
and deep within my heart now shine,
there make yourself an altar!
Fill me with joy and strength to be
your member, joined eternally
in love that cannot falter;
Longing for you
does possess me; turn and bless me;
Here in sadness
eye and heart long for your gladness.

出典

<https://hymnary.org/text/o-morning-star-how-fair-and-bright-thou>

原語(ドイツ語) 歌詞

1 .

Wie schön leuchtet der Morgenstern
voll Gnad und Wahrheit von dem Herrn,
die süße Wurzel Jesse.

Du Sohn Davids aus Jakobs Stamm,
mein König und mein Bräutigam,
hast mir mein Herz besessen;
lieblich, freundlich,
schön und herrlich, groß und ehrlich,
reich an Gaben,
hoch und sehr prächtig erhaben.

(引照聖句 : イザヤ11:1、黙示録22:16)

2 .

Ei, meine Perl, du werthe Kron,
wahr' Gottes und Marien Sohn,
ein hochgeborner König!
Mein Herz heißt dich ein Himmelsblum;
dein süßes Evangelium
ist lauter Milch und Honig.
Ei mein Blümlein,
Hosianna!
Himmlisch Manna,
das wir essen,
deiner kann ich nicht vergessen.

(引照聖句 : 黙示録2:17)

3 .

Gieß sehr tief in das Herz hinein,
du leuchtend Kleinod, edler Stein,
mir deiner Liebe Flamme,
daß ich, o Herr, ein Gliedmaß bleib
an deinem auserwählten Leib,
ein Zweig an deinem Stamme.
Nach dir **wallt** mir
mein Gemüte,
ewge Güte,
bis es findet
dich, des Liebe mich entzündet.

(引照聖句 : 黙示録4:3)

4 .

Von Gott kommt mir ein Freudenschein,
wenn du mich mit den Augen dein
gar freundlich tust anblicken.
O Herr Jesu, mein trautes Gut,
dein Wort, dein Geist, dein Leib und Blut
mich innerlich erquicken.
Nimm mich freundlich
in dein Arme Herr, erbarme
dich in Gnaden;
auf dein Wort komm ich geladen.

(引照聖句 : 記載なし)

大塚野百合 私訳

一、

なんと美しく輝く明けの星よ。
恵みと真に満ちているエッサイのひこばえよ。
ヤコブの幹からでたダビデの子よ。
私の王、私の花婿よ。
あなたは私の心を奪っておられます。
愛と優しさにみち、
美しく、栄えに輝き、偉大であり、
貴く、恵み豊かで、
厳として君臨していただきます。

二、

私の真珠、貴い王冠、
まことに神とマリヤの子として
高貴な生まれたもうた王よ！
私の心は、あなたを天に咲いた花とあがめ、
あなたの甘美な福音を
乳と蜜としています。
ああ、私の花に
ホザナ！
天のマナを
私たちは食し、
あなたを忘れることはできません。

三、

私の心に深く注ぎたまえ、
輝く宝石よ、
あなたの愛の炎を！
あなたの選ばれた肢体の一部、
あなたの幹に連なる枝と私をしてください。
永遠に善である主よ、
あなたを求めて
私の心は
煮えたぎっています。
あなたを見いだし、
その愛によって燃えることができますように。

四、

神から喜びの光りがさしてきます。
あなたが優しく私を
見つめてくださるとき。
お、主イエスよ、私の大切な宝よ。
あなたのみ言葉、み霊、み体と血潮は、
私のしぼんだ心を
生かしてくれます。
主よ、私をやさしくみ腕に抱いてください。
私を恵み、憐れんでください。
み招きにしたいがい、みもとにまいります。

5 .

Herr Gott Vater, mein starker Held,
du hast mich ewig vor der Welt
in deinem Sohn geliebet.
Dein Sohn hat mich ihm selbst vertraut,
er ist mein Schatz, ich seine Braut,
drum mich auch nichts betrübet.
Eia, eia,
himmlisch Leben
wird er geben
mir dort oben;
ewig soll mein Herz ihn loben.

(引照聖句 : エレミヤ20:11, 31:3)

6 .

Zwingt die Saiten in Cythara
und laßt die süße Musika
ganz freudenreich erschallen,
daß ich möge mit Jesulein,
dem wunderschönen Bräutigam mein,
in steter Liebe **wallen**.
Singet, springet,
jubiliert,
triumphiert,
dankt dem Herren;
groß ist der König der Ehren.

(引照聖句 : 黙示録19:7)

7 . Wie bin ich doch so herzlich froh,
daß mein Schatz ist das A und O,
der Anfang und das Ende.
Er wird mich doch zu seinem Preis
aufnehmen in das Paradeis;
des klopf ich in die Hände.
Amen, Amen,
komm, du schöne
Freudenkrone,
bleib nicht lange;
deiner wart ich mit Verlangen.

(引照聖句 : 黙示録22:13)

出典 : Evangelisches Kirchengesangbuch (EKG) #48

五、

父なる神、私の強いまもり手よ。
あなたは、この世が創られる前より、
あなたのみ子において私を愛しぬかれました。
あなたのみ子は、私を彼の伴侶となしたまいました。
主は私の宝、私は彼の花嫁となり、
悩みはすべてうせました。
ああ、
主は天国の命を
与えたまいます。
永遠に私は主をたたえます。

六、

琴をかきならし、
甘い音楽を
やさしく響かせなさい。
私のたえに麗しい花婿
主イエスと絶え間なく
愛に**沸き立つ**ことができるように。
歌い、踊り、
喜び祝い、
勝ちほこって
主に感謝しなさい。
栄光の王は偉大であります。

七、

私は何と喜びに満ちていることでしょうか、
私の宝は、初めであり、終わりであります。
主は、私をパラダイスに引き上げて、
そこで主を賛美させていただきます。
私は手をうちならします。
アーメン、アーメン、
麗しい喜びの冠よ、
早く私のもとにきてください。
ただひたすらに、その日をまちわびています。

出典 : 大塚野百合『賛美歌と大作曲家たち ころを
癒す調べの秘密』創元社、1998年12月10日第1版